

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
H30年 5月 17日	
大分県知事	殿
提出者	
住所 大分県玖珠郡九重町栗野59-1	
氏名 玖珠工業株式会社	
代表取締役 秦 圭介	
電話番号 0973-73-1880	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	玖珠工業 株式会社
事業場の所在地	大分県玖珠郡九重町栗野59-1
計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	ゴム製品製造業
② 事業の規模	生産金額 3,272百万円
③ 従業員数	250名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>生産工程：</p> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ゴム材料受入れ・ 熱入れ加工 </div> ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 一次加硫成形・ 仕上げ </div> ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 二次加硫 </div> ⇒ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 検査・包装・出荷 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center;"> 廃却ゴムバリ・生地・不適合品 (収集運搬・処分・委託) </div> <p>運搬された廃棄物は主にセメントを製造する焼成工程でサーマルリサイクルされる</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
(管理体制図) <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <pre> graph TD A[統括責任者: 社長] --- B[環境管理責任者: 副社長] B --- C[廃棄物管理主管部署: 業務課] B --- D[廃棄物管理者: 課長級以上] </pre> </div> <div style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役割: 1. 環境管理責任者 <ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物の維持管理 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の承認 ○ 廃棄物関連の全般業務 2. 廃棄物管理主管部署 <ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物管理 ○ 廃棄物委託業者管理 ○ マニフェスト管理 ○ 産業廃棄物管理票交付等状況報告書等の作成 3. 廃棄物管理者 <ul style="list-style-type: none"> ○ 各部署の廃棄物管理 </div> </div>						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
① 現 状	【前年度（平成29年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油	廃蛍光灯	金属
	排 出 量	1058.58 t	76.63 t	5.6 t	0.17 t	6.1 t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ TCD活動による省材の推進 (ゴム生地使用量の削減) ・ 不適合低減による廃却生地の削減 					
② 計 画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油	廃蛍光灯	金属
	排 出 量	986.09 t	76.56 t	5.6 t	0.17 t	6.1 t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ TCD活動による省材の推進 (ゴム生地使用量の削減) ⇒ 品目を拡大し継続展開 ・ 不適合低減による廃却生地の削減 ⇒ 不適合0活動及び各課での低減活動 					
産業廃棄物の分別に関する事項						
① 現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <p>① 廃プラスチック類 ② 汚泥 ③ 廃油 ④ 廃蛍光灯 ⑤ 金属</p>					
② 計 画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <p>※現状の取組みを継続実施する。</p>					

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項						
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油	廃蛍光灯	金属
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t	-t
	(これまでに実施した取組)					
なし						
② 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油	廃蛍光灯	金属
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t	-t
	(今後実施する予定の取組)					
なし						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項						
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油	廃蛍光灯	金属
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t	-t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t	-t
(これまでに実施した取組)						
なし						
② 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油	廃蛍光灯	金属
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t	-t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t	-t
なし						

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油	廃蛍光灯	金属
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t
	(これまでに実施した取組) なし					
② 計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油	廃蛍光灯	金属
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) なし					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
① 現状	【前年度（平成28年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油	廃蛍光灯	金属
	全処理委託量	1058.58 t	76.63 t	5.6 t	0.17 t	6.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	-	-	-	0.17 t	-
	再生利用業者への処理委託量	1058.58 t	76.63 t	5.6 t	-	6.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-	-	-
(これまでに実施した取組) 中間処理業者の選定、管理、定期での現地確認実施。 ※現状値は第2面 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項の現状値と同じ						

② 計 画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	汚泥	廃油	廃蛍光灯	金属
	全処理委託量	986.09 t	76.56 t	5.6 t	0.17 t	6.1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	-	-	-	0.17 t	-
	再生利用業者への 処理委託量	986.09 t	76.56 t	5.6 t	-	6.1 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	-	-	-	-	-
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-	-	-	-	-
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の取組みを継続実施する。 <p>※計画値は第2面 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項の計画値と同じ</p>					
※事務処理欄						

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。